

国体代表選手選考基準

2008/9/13修正
静岡県ソフトテニス連盟

少年の部	県予選の名称を国民体育大会代表候補選手選考会とする。	
	一次予選	二次予選
	「一次リーグ戦」 次の12ペアが出場でき、6ペアによるリーグ戦を2ブロックに分ける。 ● インターハイ県予選上位6ペア ● 東・中・西地区推薦選手 2ペア以内×3地区＝6ペア以内 * 推薦選手は各地区委員長が決定する	1 次の8ペアによるリーグ戦を行い上位2ペアを国体代表候補選手とする。 ● 一次リーグ戦の上位7ペア ● 県トーナメント戦優勝ペア
	「県トーナメント戦」 一次リーグ出場選手を除く。	2 監督は二次予選出場選手から上記2ペアを除いた中から4名を推薦し、国体代表候補選手8名による団体チームを編成する。 3 東海ブロック大会及び国体本大会に参加する6名は、その後の強化練習会等により、強化部が選考し、県連理事長が決定する。 なお代表選手に選考されなかった2名については、補欠として東海ブロック大会及び国体本大会へ帯同する。
		※ 監督の任期は、2年または4年とする。再任を妨げない。 監督の選考は、前年度までに強化部で選考し、県連理事長が決定する。
成年の部	一次予選	二次予選
	上位4ペアが二次予選に出場できる。 * 県選手権優勝ペアの一次予選免除はしない。	1 次の6ペアによるリーグ戦を行い、上位2ペアを国体代表選手とする。 ● 一次予選上位4ペア ● 県強化委員会推薦4名
		2 残りの1ペアについては、二次予選出場選手から4名を選考し、強化練習、合宿等を行い決定する。 なお代表選手に選考されなかった2名については、補欠とし大会へ帯同する。
		3 上記2の選手選考は強化委員会が行い、代表選手決定は県連理事長が行う。

「国体代表選手選考基本方針」

1. 人間としての基本的なルール、マナーを守れること。
2. スポーツマンシップ(相手・審判・ルールを尊重)の精神を常に持っていること。
3. 常に競技力向上に向けて精進し続ける強い意思を持っていること。
4. 各種大会及び強化練習等の成績が優秀な者。

以上の基本方針をもとに代表選手を選考する。

静岡県ソフトテニス連盟
理事長 落合 敏 男